



こどもクリニックニュース

NO. 160 平成25年5月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定（平成25年6月まで）

5月	8日	(水)	内科健診	水深小
	15日	(水)	内科健診	水深幼稚園
	23日	(木)	3・9ヶ月健診	騎西・保健センター
	29日	(水)	内科健診	にしき保育園
6月	19日	(水)	内科健診	第四保育所
			1才半健診	加須・保健センター
	27日	(木)	3・9ヶ月健診	騎西・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

平成25年度から、騎西地区の乳幼児健診にも加わるようになりました。

毎年5～6月は、学校や幼稚園・保育園の内科健診が集中する季節です。私も校医や園医を担当しているため、日程が立て込んでいますが、これらの健診は水曜日を利用しているため、通常の診療には支障ありません。

休診の予定

7月までは臨時の休診はありません。

お盆期間は（水曜日も）通常診療する予定です。

8月下旬に「夏休み」を予定しています。

水曜日は一日休診です。

感染症の情報

季節性インフルエンザの流行は完全に終わったようです。最近少し目立つのは胃腸炎（発熱・下痢・嘔吐）の患者さんですが、大流行というほどではありません。

ただしこれから新学期の疲れも溜まってくるころですし、夏の感染症（手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱）が増えてくる季節です。溶連菌感染症や水痘、おたふくかぜも、時々流行します。

手洗いは、すべての感染症の予防にとっても有効です。

小児科休日診療の予定

加須市では、11月から翌年3月まで、元日を除く日曜・祝日に小児科休日診療が実施されました。4月から10月までは祝日のみの診療となります。5月の当番は以下のとおりです。

月	日	曜日	当番医
5月	3日	(金)	加藤こどもC
	4日	(日)	-
	5日	(木)	ともながこどもC
	6日	(月)	加藤こどもC

診療（受付）は9:00～12:00です。

医療機関の都合により当番が変更される場合があります。ご利用の際は、加須市の広報誌やホームページなどで、最新情報をご確認ください。

熱中症に注意

暖かさを乗り越えて「暑い」日が多くなってきました。このような時期は、お子様の「一過性の体温の上昇」が起こりやすく、また「熱中症」にもなり易いといわれています。その理由は、体が暑さに慣れていないため、体温の調節がうまく出来ないことがあるからです。

厚着は禁物！

水分補給を！

駐車中の車の中は高温になるので要注意！！

また舗装された道路の表面は、かなり高温になります。買い物やお散歩のときも油断されませんように！！



日本脳炎ワクチン 2期接種も勧奨再開

日本脳炎ワクチンは、全ての接種を再開しています。
ところで、日本脳炎ワクチンの接種回数について、勘違い、あるいは忘れてしまっている方が多いように感じます。

日本脳炎ワクチンは、合計4回の接種です。

<標準の接種スケジュール>

3歳過ぎたらまず2回（1期・初回接種）

1～4週間の間隔

その1年後に3回目（1期・追加接種）

9～12歳頃に4回目（2期接種）

以上、合計4回です。

今の中学生～高校生の中には、一時的な中断のせいで「2期接種」を受けていない方が多いはず。この方たちも今年の4月から2期接種を受けられるようになりました。近いうちに保健センターから連絡があると思いますが、今でも接種可能です。ご希望の方は保健センターに電話して問診票を送ってもらおうと良いでしょう。



水痘ワクチン、おたふくかぜワクチン 2回接種をおすすめしています

日本小児科学会のおすすめのタイミング（最新）

水痘ワクチン

1才で1回目、半年から1年後に2回目

おたふくかぜワクチン

1才で1回目、小学校入学前に2回目

※私は少し古い情報に基づいて、どちらのワクチンも「1年くらいの間隔で2回接種」とお勧めしていましたが、今後は上記のタイミングをおすすめしていきます。

他にもお子様に予防接種を推奨しているお医者さんたちの集まり「NPO法人 VPDを知って、子どもを守る会の会」というものがあり、そこでは水痘ワクチンは3ヶ月間隔で2回接種、おたふくワクチンは2～4年で2回接種を推奨しています。

大切なポイントは、1回だけの接種では効果が弱いので、2回接種したほうが良いということです。お金はかかってしましますが、是非ご検討をお願いします。

花粉症

今シーズンのスギとヒノキの花粉飛散は、当初の予報通りとても多かったようです。それでも関東平野のスギ花粉の飛散は終わり、ヒノキの花粉も少なくなってきています。花粉症で悩んだ多くの方は、やっと普通の生活ができるようになるでしょう。

もしも、ゴールデンウィークが過ぎた後でもなお花粉症の症状が続いている方は、様々な街路樹や雑草の花粉のアレルギーが疑われます。心当たりのある方で今までにアレルギー検査をしたことがない方はご相談ください。



子宮頸がんワクチンについて

4月から定期接種となったばかりの子宮頸がんワクチンについて、副反応の話題が持ち上がっています。インターネットやツイッターなどで様々な意見を見比べると、「定期接種を取りやめるべきだ!」という過激な書き込みを発見しました。すこし筋違いの意見だと思います。

「副反応」はすべてのワクチンに共通の悩みですが、ワクチン接種の後に起こった「不都合な出来事」が「本当にワクチンの副反応」かどうかを断定するのは、医学的にもとても難しいのです。なぜなら、ワクチン接種をしない方でも、突然の病気になることがあるからです。

一方で「定期接種」という制度は、一定の年齢の方は無料（もしくは低額）でワクチン接種を受けることができ、なおかつ運悪く副反応と推測される重い健康被害が起こった場合は国が補償する、というものです。決してワクチン接種を強制している訳ではありません。

日本では毎年、子宮頸がんが3,000～4,000人の女性が亡くなっているといわれています。それを減らすことが出来るのはワクチン接種と検診だけです。ワクチンの副反応の不安をゼロにすることはできませんが、リスクを承知の上でワクチン接種を受けたい方も多くは必ずです。

「定期接種を取りやめろ」という意見にはとても賛同できません。

こどもクリニックニュースの
無料郵送サービスをしています!

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい



携帯用ホームページ

ともながこどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150